

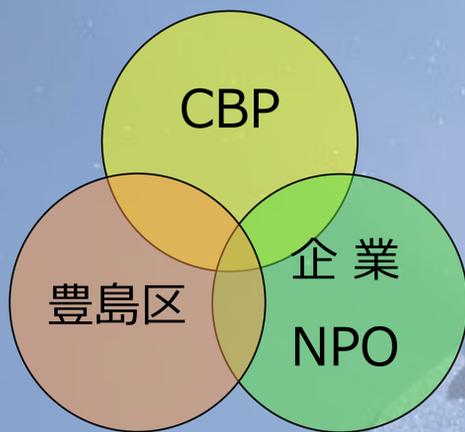
# 東京都立千早高等学校

## CBP（千早ビジネスプロジェクト）

高校生ボランティア・アワード2022

### 活動概要

「地域で頑張っている人を地域と連携して一緒に応援する」



- CBP  
豊島区や企業、NPOと連携した活動をおこない、地域活性化と地域貢献に取り組んでいます。
- 豊島区  
令和2年7月「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定
- 企業  
日本郵政・豊島区内郵便局
- 公益社団法人  
公益社団法人豊島法人会 公益社団法人東京青年会議所
- NPO法人  
NPO法人「としまの記憶」をつなぐ会 任意ボランティア団体「Sassily」

### 活動目的

「ビジネスの学習をより楽しく」

「RESPECT」

- ビジネスやコミュニティの専門的な分野を幅広く体験して、探究のために必要な学びを見つけ、その能力を身につける
- 他者への尊敬の精神を持ち、異文化の人たちと積極的に交流する態度を育む

### 豊島区東日本大震災 災害復興支援コンサート

- 豊島区立池袋西口公園野外劇場「グローバルリングシアター」でボランティアスタッフとして会場の設営運営・本部補助・映像演出に参加



会場の設営運営



映像演出

### 夏休み租税教室

- 公益社団法人豊島法人会主催として、豊島区の小学生を対象にした租税教室を実施、「小学生が考える！税金の使い方」のプレゼンテーション作りをアドバイス



参加者全員で記念撮影

### 豊島区教育委員会 SDGsフェスティバル

- 豊島区では「SDGs達成の担い手育成事業」として豊島区芸術文化劇場にてイベントを開催し、司会進行を担当



関係者の方々と記念撮影

### イケ・サンパーク ファーマーズマーケット



11



12



17

私たちが実践したSDGs17の目標



規格外野菜の販売



区長さんと記念撮影

- 任意ボランティア団体「Sassily」の販売のお手伝い
- 食品ロス削減のため、規格外野菜を完売させることを目標に掲げ、そのために新聞紙を使って買い物袋を作ったり、私たちが作ったレシピを渡したりして目標を達成



### プロフィール

- CBPは2009年に誕生し15年間継続しています。様々なビジネス活動や社会のために役に立つ活動を実施してきました。本物を体験しながら、自分たちのビジネスの学びが社会に活かされているかを確認、自分の将来を見つけるキッカケとなっている活動です。
- 2022年度のメンバーは60名です。

### 『消滅可能性都市』から『持続発展都市』へ

- 私たちの千早高校がある豊島区は23区で唯一、2040年に20~39歳の若年女性が半減し、人口を維持することができない「消滅可能性都市」とされました。その対策の四つの柱は①子どもと女性にやさしいまちづくり、②地方との共生、③高齢化への対応、④日本の推進力です。そこで、私たち高校生が地域のためにできることを考え行動して、地域活性化に取り組んでいきます。

- 私たちの千早高校はビジネスと英語を中核とした、都立高校に2校しかないビジネスコミュニケーション科が設置されています。1学年からビジネスの授業でNPOやSDGsについて学んでいます。そのことを踏まえ、私たちの住んでいる「地域」「国」「世界」が今よりもさらに良くなるために、私たちには何が出来るかをメンバー全員で考えていきます。

